

● 2014年（平成26年）10～12月

1 社会・治安情勢

(1) アンマンのアブダリ・マーケットからの立ち退き期限であった10月10日、立ち退きを拒否した露天商7名が逮捕された。11日、移転に反対する露天商約100人が抗議行動を行った。露天商が火焰瓶を投げたり、実弾を発砲し、治安当局者2名が負傷し、治安当局は抗議者を分散させるため、催涙ガスを使用した（10月12日付当地ドストール紙他）。

(2) 当地サラフィスト関係者によれば、犠牲祭前後の10月2日から13日までの間に、30名以上のイスラーム国（ISIL）を支持するサラフィストが治安当局により逮捕された。彼らはモスクでISILの旗を掲げたり、ネットワークを通じてISILへの支持を唱道したため、逮捕された（10月14日付当地ガッド紙）。

(3) ムーサ・アブダラート・ジハード運動弁護人によると、2011年のシリア危機勃発以降、シリアでの戦闘に参加して死亡したヨルダン人ジハーディストの数は、250人以上である。最近の有志連合による空爆によるジハーディストの死者も増えている。

現時点でシリア国内で戦闘に参加しているヨルダン人ジハーディストの数は、2,000人前後であり、うち1,300名はISILに所属し、残りの多くがヌスラ戦線に所属している（10月29日付ヨルダン・タイムズ紙）。

(4) ヨルダン軍関係者によると、10月29日、ヨルダン・シリア国境において国境警備隊員がパトロールを行っていたところ、シリア領側から銃撃を受けて軽傷を負った。国境警備隊員が応戦し、襲撃グループの1名を殺害し、2名が負傷した。国境警備隊は、過去数ヶ月の間にも武装グループによる密入国事案に対応しているが、これまでヨルダン側に負傷者はでていなかった。

本年7月、ヨルダン空軍は、ヨルダン北東部のシリア国境付近において所属不明の無人機を撃墜している。（10月30日付ヨルダン・タイムズ紙）

(5) ヨルダン軍関係者によれば、国境警備隊は、11月20日午前10時30分に、ヨルダンを經由して不法に隣国から隣国へ通過しようと試みた複数のアラブ国籍の人物を逮捕した。同不法侵入者はテロ組織に合流する予定であったと見られている。（11月24日及び25日付ヨルダン・タイムズ紙）。

(6) マフラック市に所在するアル・バイト大学は、キャンパス内で発生した、傷害事件を含む騒乱のため、12月4日の授業を中止した。同大学の学長によれば、覆面を被った部外者の乱入によりキャンパス内が大混乱となり、授業の中止を決定した由。

今回の騒乱では、21歳の男子学生が肩を撃たれて重傷を負った。大学側は

今回の騒乱事案に関与した者に対して法的及び行政的な措置を執る旨強調した。

なお、負傷した学生の容体は安定している。大学側は今回の騒乱事案を受けて、事件に関与したとされる学生25名を退学処分とした。

アル・バイト大学では、11月27日にも同様の騒乱事案が発生し、授業を中止した経緯がある。同事案は部族間の衝突であり、負傷者は発生しなかったものの、投石により建物や車両が破壊された。

ヨルダン政治科学協会によれば、ヨルダンの大学では過去4年で296件の暴力事件が発生し、7人が死亡している（12月5日及び6日付当地各紙）。

（7）12月14日、ヨルダン軍関係者は、「12月13日、国境警備隊は、3人のアラブ国籍の人物のシリアからヨルダンへの不法侵入を阻止した。1名は負傷のため、病院へ搬送された。」と述べた。

今月初めにも、国境警備隊は、シリアからヨルダンへの不法侵入を阻止している。その際、1名は射殺され、1名負傷、他の3名はシリアへ逃げ帰り、不法入国者に合図を送っていた1名は逮捕された（12月15日付ヨルダン・タイムズ紙）。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

邦人の被害

（1）ひったくり

午後6時頃、アンマン市ダウンタウンにあるバスターミナルのラガダンにおいて、在留邦人（男性）が、携帯電話に保存していた行き先のメモを見せ、どのバスに乗るべきかを尋ねたところ、相手の男に携帯電話をひったくられた。男は、人混みの中に走って逃げた。警察に被害届を提出した。

（2）侵入盗（忍び込み）

深夜、アンマン市内の4サークル近くにおいて、在留邦人（男性）が就寝中、アパート（2階）の無施錠であった窓から何者かが侵入し、室内の貴金属などを盗まれた。人的被害なし。警察に被害届を提出した。

（3）痴漢

午後7時半頃、アンマン市内の7サークル近くにおいて、在留邦人（女性）2名が路上を歩いていたところ、1名が後ろから来た男性に背中から抱きつかれた。男はすぐに逃走した。警察に被害届を提出した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

9月21日、ヨルダン治安当局は、イスラーム国（ISIL）に関係するとされるタクフィール主義者ら数人を逮捕した。供述によると、同人らはシリアにいるISILの司令官の指示により、ヨルダン国内要所におけるテロを計画

していた。

逮捕された 1 人は、ヨルダン北部に在住しており、爆発物を製造中に自宅を誤爆した（9月22日付当地各紙）。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

（了）